

地震発生後の安全確認手順

地震発生直後の対応(実施済)

地震発生

(120ガル～450ガル)

プラント停止

中央制御室での状況確認

巡視点検

異音・異臭・漏えい・破損の確認

原子炉格納容器内
の機器等の点検

冷温停止(100℃)確認後

冷温停止(100℃)到達後

■保安規定に定める運転上の制限を確認

■動作確認試験

- ・非常用炉心冷却系
- ・非常用ディーゼル発電機

【特別な保全計画】

(3～5号機について、以下のとおり)

プラント停止中の対応

安全・安定運転に必要な設備

■機器単位の点検

外観点検・漏えい確認
基礎ボルトの打診点検
ポンプ、モータ等の
運転時の振動データ評価 等

(5号機の耐震B, Cクラス
設備について追加)

■システム単位の点検

運転によるシステム機能の確認
安全上重要な機能の確認
(運転中の機能確認を含む)

安全上重要な設備
について地震観測
記録を用いた設備
健全性の評価

結果から必要に応じ見直し

異常のないことを確認

プラント起動過程での
運転状況確認

結果から必要
に応じ見直し

プラント起動後の
運転状況確認(※1)

結果から必要
に応じ見直し

通常運転

※1 確認にあたっては、原子炉を運転し、蒸気を使用して機器やシステムの機能を確認したり、プラント全体の運転状態を確認する場合があります。

地震観測記録

※2
設計の範囲内か

No

計画の見直し

終了

※2 観測記録と基準地震動 S_1 との応答比較により確認